一般質問発言通告表

向日市議会 令和5年第4回定例会

令和5年12月5日

質問順	会 派 名 氏 名	質 問 事 項 (要 旨)
1	日本維新の会 無所属の会 村 田 光 隆	1 ライドシェアと自動運転について。 2 害獣対策について。
2	自 民 ク ラ ブ 天 野 俊 宏	1 国民健康保険に係る保険料の確保について 2 小中学校の体育館への空調整備について 3 本市の情報発信について 4 向日町競輪場とアリーナ構想について 5 ゼロカーボンシティと ZET-valley 構想について
3	公明党議員団 福 田 正 人	1 献血推進の取り組みについて 2 食品ロス削減の取り組みについて
4	MUKOクラブ 和 島 一 行	1 向日市まつりについて 2 学校開放調整会について
5	明日の向日 杉 谷 伸 夫	1 市民温水プールの早期建替えについて 2 高齢者のごみ出し支援について 3 不登校の子どもたちに学びの機会と過ごし場の場を保障すること
6	日本共産党議員団 丹 野 直 次	1 物価高騰から市民生活をまもる施策充実を図ることについて 2 向日町競輪場再整備事業（中間案）について 3 向日台住宅の建替えに伴う環境問題について
7	飛鳥井 佳 子	1 不登校特例分教室の設立について 2 オーガニック給食について 3 図書館等で児童、生徒、大人たちが自由に使える憩いの場をつくることについて。 4 府の向日町競輪場のアリーナ計画の早期実現について 5 コロナワクチンの副反応について
8	日本維新の会 無所属の会 青 山 まゆみ	1 障がい者の就労支援の現状と進捗状況について 2 生活保護者や身寄りのない困窮者の葬祭扶助費について
9	MUKOクラブ 近 藤 宏 和	1 まちづくりについて 2 健康で長寿のまち向日市へ

10	明日の向日 林　　リエ	<ol style="list-style-type: none"> 1 「向日市ゼロカーボンシティ宣言」の現状と今後の展望について 2 出産・子育て応援給付金の活用と子育て支援について
11	日本共産党議員団 北林智子	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者福祉について 2 保育行政について
12	日本維新の会 無所属の会 松本みゆき	<ol style="list-style-type: none"> 1 ZET-valley 構想（カーボンニュートラル）について 2 次世代テクノロジーを活かし世界に注目される向日市へ 3 地域づくりによる住民主体の介護予防活動について 4 高齢者の耳の聞こえの支援について
13	日本共産党議員団 山田千枝子	<ol style="list-style-type: none"> 1 小中学校の給食無償化及び教育予算の増額などについて 2 子どもの医療費を通院も18歳以下まで無料に 3 溝掃除への補助金制度をつくることについて 4 大軍拡・大增税でなく平和と暮らし優先の経済再生に
14	日本共産党議員団 米重健男	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の建設事業者の育成で公共工事の品質向上を 2 公園の整備について 3 確定申告における税等減免の案内について

一般質問通告書(総括)

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項(質問の要旨)		
1. ライドシェアと自動運転について。	<p>日本全国でタクシーとバスの運転手不足が深刻化している。</p> <p>福岡県の福岡市長が「地域のタクシー不足への対応は、喫緊の課題で『ライドシェア』解禁に向けた法改正の準備を進めるよう」要請した。</p> <p>さらに導入後もタクシーとの共存も可能となるよう規制の在り方も検討するように述べられている。</p> <p>また、大分県の別府市長も、ライドシェアの導入が検討されている間も地域で自治体や NPO が運営する有料の送迎サービスを拡大するよう、政府に拡大策を急ぐよう求める意見が出されている。</p> <p>富山県の富山市長も前向きな考えを示されている。</p> <p>神奈川県黒岩知事は、ライドシェアに意欲を示し、まず三浦市での導入を目指すための検討会議を始めた。</p> <p>全国の自治体でライドシェア導入の支持が広がりつつある。</p> <p>本市の考えを聞く。</p> <p>ホンダが、2026 年に東京の都心部でタクシーの自動運転サービスを開始すると発表した。</p> <p>大手のタクシー会社も運転手不足解消と、環境負荷の低減を目指して実証実験を行っている。</p> <p>路線バスに関しても、自治体や鉄道会社の実証実験を行っており、2025 年にも運行が開始されると言われている。</p> <p>本市においても、運転手不足や安全に運行ができないことを理由に、コミュニティバスの本数も少ない。</p>		

	<p>また途中で入庫してしまうなど、巡回バスが巡回になっていないとの声も多い。</p> <p>自動運転が実用化されれば、運転手確保の心配もなくなり、時計回りのバスも運行することができる。</p> <p>自動運転に関しての法整備や技術面の課題も多いが、将来の運行に向けた本市の考えをお聞きする。</p>
2. 害獣対策について。	<p>日本各地で害獣の被害が多発している。本市でも農作物の被害は確認されており、いつ害獣が出没しても対処できるようにされていることと思う。</p> <p>本市で熊が出没することは考えにくいですが、急激な気候変動により、イノシシや猿が出てくることはあり得る。</p> <p>また害獣だけでなく、家庭でペットとして飼われているオオトカゲやカミツキガメなどの外来種が逃げ出したというニュースもたびたび報道されている。</p> <p>数年前には本市でもヒアリが発生しており、対策に追われた。</p> <p>害獣等が出没したときの本市の危機管理と対策をお聞きする。</p>

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	天野 俊宏	所属会派名	自民クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 国民健康保険に係る保険料の確保について	<p>国保の運営を継続するには、保険料収入の確保が必要と考えるが、京都地方税機構への移管について伺う。</p> <p>国保の適正な運営は、医療費の支出を抑える取組に加え、保険料を適切に確保することが非常に重要なことと考えている。</p> <p>京都市を除き、国保料滞納整理業務を京都地方税機構に移管していないのは、本市と舞鶴市のみになっているが、舞鶴市は、国保運営協議会で、京都地方税機構に移管する事について諮問されたと聞かすが、本市の税機構への移管について所見を伺う。</p>		
2. 小中学校の体育館への空調整備について	<p>小中学校の体育館の空調整備について伺う。</p> <p>全国的にも、体育館には空調が整備されておらず、熱中症の危険が高く、エアコンの設置を検討している市も増えてきている。</p> <p>その中で、長岡京市や他市でも体育館のエアコン整備をすると聞いている。</p> <p>エアコン整備には大きな費用が必要で簡単ではないが、安価で設置できる方法で、本市も大体育室に設置を検討する事はどうか所見を伺う。</p>		
3. 本市の情報発信について	<p>本市の様々な情報や施策、また、防災情報などをタイムリーに市民の皆様に発信することについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難情報などタイムリーに発信が必要な情報について、LINE の活用などが役立つものと考えられるが如何か。 2. 市町村防災行政無線の整備について伺う。 		

4. 向日町競輪場とアリーナ構想について	<p>向日町競輪場の再整備計画とアリーナ構想（誘致・建設）について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">向日町競輪場整備基本構想の中間案がでており、向日市でも住民説明会をされたが、競輪場再整備に係る市長の受け止めはどうか伺う。自民クラブでも京都府知事に要望を実施したほか、「京都 にアリーナを！」の署名活動が盛り上がりを見せているなか、向日市民でさらなる盛り上がりが必要と思うが、市民に対してアリーナ誘致・建設のメリットをどのように訴えるのか、伺う。一方で、京都府に提出した意見書には記載があるが、向日町競輪場へのアリーナ誘致が実現の際、周辺道路整備や駐車場等の環境整備が必要と考えるが、府への要望活動や、本市としてもこれらの環境整備の取組みについて伺う。
5. ゼロカーボンシティとZET-valley 構想について	<p>ゼロカーボンに向けての本市の取組みと ZET-valley 構想の具体策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">ゼロカーボンシティ実現に向けた補助金交付事業の市民の反応や受付状況について伺う。今年度の第3号補正予算のゼロカーボン推進補助金は、間もなく締め切りになるが、今後のゼロカーボン推進の新たな補助事業の予定を伺う。今年3月に「ZET-valley」の形成に向けた連携協定を京都府、向日市、JR西日本、京都銀行の4者で締結したが、現在の「ZET-valley」構想の進捗状況などについて伺う。

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	福田 正人	所属会派名	公明党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1 献血推進の取り組みについて	<p>この20年間で10代から20代の献血者数は平成12年度と比較して、143万人で61%も減少していると言われている。そこで本市の献血推進の取り組みを伺う。</p> <p>① 近年における本市の献血の状況と献血者数について伺う。</p> <p>② さらに、本市職員の献血者数の状況を伺う。</p> <p>③ 厚労省は、仕事・家事等で忙しい方が献血を行う機会と利便性を高めるとしているが、本市の今後の取り組みを伺う。</p> <p>④ 本年6月の閣議決定された2023年基本方針には「献血の理解を深める」として「小中学校の現場での献血推進活動を含む」として献血年齢前からの、普及啓発を進めるとしている。本市においても献血教育が必要と考えるがいかがか。</p> <p>⑤ 現在、高校生には厚労省は作成したハンドブック「けんけつ HOP STEP JUMP」が配布されている。これには献血の必要性や献血の手順がわかりやすく書かれている。京都府内の自治体では、すでに中学生に配布されているところもある。本市でもこのハンドブックを活用し献血についてより理解を深める取り組みを行っては如何か。</p>		

<p>2 食品ロス削減の取り組みについて</p>	<p>食品ロス削減推進法が 2019 年 10 月 1 日に施行され、食品ロス削減に関する普及・啓発が進められてきた。また、SDGs の開発目標の 1 つでもあり、食品廃棄量を減少させることが求められている。</p> <p>① 本市における食品ロス対策と廃棄に対する取り組みと、目標の設定について伺う。</p> <p>② 本市小中学校での給食の残食量について伺う。</p> <p>③ 向日市まつりで実施されていた「フードドライブ」がコロナ過もあり中止されているが、再開の考えについて伺う。</p> <p>④ 事業系の食品ロス削減と母子家庭等の支援を行う自治体主体の支援として、企業や商店から提供された在庫食品を、地域に設置された冷蔵庫・冷凍庫で保管し、随時必要とされる低所得の母子家庭等に無償で提供される「コミュニティフリッジ」（公共冷蔵庫）を設置する自治体が出はじめている。本市の考えを伺う。</p> <p>⑤ 身近な食品ロス対策として、「タベスケ」というフードシェアリングサービスがあり、報道等で紹介されている。食糧店は、まだ食べられるのに廃棄される食品を通常の半額等で「タベスケ」に出品し、消費者はその情報を得て、購入予約を行い、商品を提供している店舗に直接出向き、安価で購入する仕組みである。店舗では廃棄をなくし、消費者は物価高騰の中で安く購入ができる。この取り組みを行っては如何か。</p>
--------------------------	--

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	和島 一行	所属会派名	MUKOクラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 向日市まつりについて	<p>趣旨 向日市まつりがコロナ禍により中止された。コロナ禍が明けて、向日市まつりが再開されるだろうと市民の中には喜んでいただきた方々たくさんおられたと思うが、施設側の都合により再開はないようだ。今後、向日市まつりは再開されるのか、されないのかをわかりやすく説明していただきたい。</p> <p>① 向日市まつりが中止になったが、今まであったステージ部門の「ふるさとステージ」は場所を変えて、先般、永守重信市民会館で開催された。多くの出場者、関係者、一般来場者がみられ大盛況だった。このような市民が発表できるイベントは一年に一度ではなくいろんな形で開催してほしい。同時に市民文化展も開催されたので集客する意味では正しいと感じる。この企画に関しては大きく評価したい。</p> <p>しかし、向日市まつりにはステージだけではなく、飲食ブース、物販ブース、啓発ブース、バザーやフリーマーケット他、西岡衆行列、古代衣装の行列、様々な団体が運営費を集めるために所狭しと出店する。この方々のために今後、向日市まつりに代わるイベントはふるさとステージのように違った形で行う事はできないのか。</p>		
2. 学校開放調整会について	<p>趣旨 学校開放のグラウンド、体育館の調整会は昭和時代から2か月に一度、各団体の代表者が集まり、1枚の調整用紙に練習の曜日を書き込み、予定がバッティングするとお互い話し合い、折り合いをつける。調整会はこの先もこの形で続けていくのか、それとも何らかの方法を検討しているのかを伺う。</p> <p>① 昭和時代から長年、各団体の練習日は曜日を確定している。調整会に行くことを失念し、後日に市民体育館に予約に行くと、大概いつも使用している</p>		

	<p>曜日のところは空いている。これは使用するグラウンド、体育館によると考えるが、バッティングする団体はどれほどあるのか。 バッティングした場合の決着方法は話し合い以外には考えられないのか。</p> <p>② インターネット予約にすると早い者勝ちになってしまうのではないかという懸念もあるが、それに関わる職員の働き方、それに関わる係員、それに集う代表者の労力、消耗品（用紙類）を考えると、各団体が納得する形で推進し、スマートなまちづくりに寄与してほしい。見解を訊く</p>

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属党派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 市民温水プールの早期建替えについて	<p>市民温水プールのあり方検討会議での検討が始まりましたが、プールの再開を待ち望む市民から、いつになったらできるのか、本当にできるのだろうか、と不安の声も聞いています。</p> <p>(1) 会議の設置目的について 「市民温水プールの再開にむけて、市民合意が得られる手法を検討する」ことが検討会議の設置目的であることの再確認をお願いします。</p> <p>(2) 再開にむけたスケジュールについて 市民が不安に思うもう一つの理由は、再開にむけた取組の目標が示されていないことです。検討会議の結論をまとめる時期を示して頂きたい。</p> <p>(3) 小中学校のプールのあり方の検討状況 小中学校のプールの今後のあり方は、水泳教育での市民温水プールの活用の検討など、市民温水プールのあり方とも関連しています。検討の現状と今後の予定、見通しを聞きます。</p>		
2. 高齢者のごみ出し支援について	<p>ごみ出しが困難でありながら、必要な支援が受けられない高齢者が、今後ますます増えていくことから、行政が責任をもって支援する制度づくりが必要ではないか。</p> <p>(1) 公的なごみ出し支援のしくみをつくることについて</p> <p>① ごみ出しに困っている高齢者世帯等の現状と、ごみ出しボランティアやホームヘルパーによる支援が足りているのか、把握している実態は？</p> <p>② 京都市を含む京都府南部8市のうち6市で、「ふれあい収集」などの名称で、行政が福祉収集をおこなっています。本市もボランティア頼みでなく、行政が責任をもって支援できるしくみづ</p>		

	<p>くりが求められているのではないか。</p> <p>(2) 提案</p> <p>介護サービスを受けている方で、ごみ出し支援を必要とされる方を対象に、通常の収集が終わった後の時間帯に、福祉収集を実施して頂けないか。</p> <p>また燃やすごみだけでなく、資源ごみ、不燃ごみなども一括して収集できるよう、制度の検討を頂けないか。</p>
<p>3.</p> <p>不登校の子どもたちに学びの機会と過ごしの場を保障すること</p>	<p>すべての子どもたちが、生き生きと育ち、学ぶ権利を保障できるよう、地域の環境作りに努めてゆくことは、全ての大人の責務です。不登校の子どもたちにも、その権利を保障する取組みが大切です。</p> <p>(1) 向日市では昨年度、年間90日以上不登校の子どもは、小中学校でそれぞれ何人でしたか？</p> <p>(2) 教室に通えない子どもたちの通所の場として開設している「ひまわり広場」、「校内フリースクール（校内教育支援センター）」について</p> <p>①運用の状況について：開設日時、教室、教員の体制、利用の仕方</p> <p>②ひまわりひろば、校内フリースクール、その他のフリースクールの利用者数</p> <p>③校内フリースクールの今後の取組み方針は？</p> <p>④ひまわり広場の更なる充実について</p> <p>(3) 市民の取組に対する支援と協働の現状と今後について</p> <p>(4) 不登校の子どもへの保護者への支援について</p> <p>①子どもに不登校の兆しが見えた時の初期支援</p> <p>②不登校が継続する時、学校による子どもと保護者への支援</p> <p>③支援への専門職の関わりについて</p> <p>(5) こどもたちが、自分の権利を学び行使することについて</p> <p>子どもたちが自らの権利について学ぶことは、自らの権利について知るだけでなく、それを実際に行使することが大切です。一例として、子どもたちが「生徒手帳」の見直しに取り組むことは、身近な権利行使の実践として貴重ではないか。</p>

一般質問通告書 (総括・分割)

質問者氏名	丹野 直次	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項 (質問の要旨)		
1. 物価高騰から市民生活をまもる施策充実を図ることについて	<p>1. 国の負担金を減らされた分が国保加入者の負担になっている。国庫支出金が削減されてきたが、国費支援金制度がどう変わってきたのか。市は事務的にされてきたのか説明して下さい。</p> <p>向日市の国保料均等割では未就学児童2分の1に減免がされていますが子育て支援の観点からも全額減免すること。</p> <p>京都府老人医療助成制度(老)をもっと拡充すべきですが、本制度の利用人数の状況と利用促進を。</p> <p>2. 仮称「中小事業者(企業)支援条例」の制定は。</p> <p>3. 向日市社協が窓口となっている生活福祉資金制度を小口と総合支援の利用された直近の返済状況は。</p> <p>4. 農業の販路拡大、栽培耕作物転換支援、農機具設備への支援について伺います。そして近郊農業の持続可能性を確保することと燃油・ガソリン代の支援に対する補助をすること。</p>		
2. 向日町競輪場再整備事業(中間案)について	<p>1. 最終案が出された場合の市の対応を伺います。</p> <p>2. 基本構想中間案では現状・課題再整備のなかで施設再整備で特別競輪を誘致することや、車券売り上げ向上ができるとなっていますが、今より開催日数が増加し新たな開催とはどういったものかわかりにくい。</p> <p>・中間報告では、各施設が古く耐震基準を満たしていないとか云々、ここから推測できるのはスタンドも含めた全面改修をすることを示唆しそこで作り出された余剰スペースに新聞報道によればメインアリーナに1万人規模をすすめるとしている。建物配置すら示されていないのに市長は誘致と言ったが、府の思いは「競輪場の整備がイコールアリーナ建設」になっているのではないか。ならば向日市民の意見をも</p>		

	<p>っと大事にして貰いたい。</p> <p>市民は不安が残されたままの状態とっておられるのですが今後の対応についてお尋ねします。</p> <p>3. 市は「向日町競輪場周辺環境整備交付金」として交付対象事業の拡大を来年度予算で府に要望されていますがその中身と見通しについて。</p> <p>4. 競輪場周辺は230人定員の第1保育所があり、毎日の送迎の他、向陽小学校児童の通学路です。前議会でも質問しましたように、府に府道路環境の対策を講じてなしに受け入れは困難ではないか、そうしなければ府と市の「ウインウインの状態に欠く」ことから府に対して強く要望すべきと考える。</p>
3. 向日台住宅の建替えに伴う環境問題について	<p>1. ごみ袋を30枚以上も使ったのですが手が不自由なため「取っ手のついたごみ袋」はどこで売っていますか？と市役所に電話を入れても販売している店を紹介してもらえなかった。以上のことから市として親切丁寧な対応を改めて伺います。</p> <p>2. 今後スケジュールによって作業がすすめられていくと思われます。既に向日台団地8棟の北側には府道整備の排水管敷設などの作業場になっています。大型重量車両や重機の出入りから、騒音、振動と交通安全対策を。</p> <p>3. 砂や土ほこりが北西風によって8棟12棟方面の団地内に飛ばないようにしてほしいと要望されています。</p> <p>以上府に対してお伝えいただきたい。</p>

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	飛鳥井佳子	所属会派名	会派に属さない議員
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 不登校特例分教室の設立 について	<p>東近江市長が、国のフリースクール施策に「国家の根幹崩す」「不登校になる大半の責任は親にある」などと、とんでもない発言をしており怒りがこみあげる。</p> <p>文科省はこの不登校特例校を「学びの多様化学校」に通称の変更をし「すべての子どもに無料で育つ権利」のため来年から支援していくとのことである。当市もさらにこのテーマに真剣に取り組んでいただきたいがどうか。</p>		
2. オーガニック給食について	<p>フランスの「エガリム法」（農業、食品業の均等な取引及び健康で持続可能な食生活の推進に関する法律）では学校給食の20%を有機食材とすることが義務化され、欧州では2030年までに公共調達の有機食材を90%にすることを目標としている。</p> <p>亀岡市では「小学校オーガニック米給食」を実施し、他市でもオーガニック給食が始まってきている。</p> <p>子どもたちにオーガニック給食や農業体験を広げることや心配なゲノム問題についての市の見解を問う。</p>		
3. 図書館等で児童、生徒、 大人たちが自由に支える 憩いの場をつくること について	<p>以前から向日市の図書館に自習室を作ってほしいというご要望があり、全国各地に「まちライブラリー」ができています。</p> <p>ぜひ、人が集える、コーヒーも飲める憩い場を開設してほしいがどうか。</p>		

<p>4. 府の向日町競輪場のアリーナ計画の早期実現について</p>	<p>先日、「向日町競輪場基本構想（中間集）の説明会に参加させていただき、感謝しており、レジャーや憩いの場、スポーツ活動、防災の拠点など多目的な複合的な機能を併せ持った地域の交流、にぎわいの拠点へと転換されることや飲食店の充実等嬉しいことがいっぱいである。アリーナができるとなれば府道の拡幅も進み、子どもたちにも遊び場が増え、ボール遊びも可能になると素晴らしいので、市をあげて全力でこの計画が実るよう努力してほしいがどうか。</p>
<p>5. コロナワクチンの副反応について</p>	<p>ワクチン接種後の体調不良を訴える方が多く、死亡者も増加しており、この薬害について国の責任ではあるが、相談窓口を強化し、データをとり公表してほしいがどうか。</p>

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	青山まゆみ	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 障がい者の就労支援の現状と進捗状況について.	<p>近年では障がい者雇用は進展し福祉から雇用への移行促進も図られているが一方で障がい者の働き方が多様化している現状と本市の就労支援の進捗状況について伺いたい。</p> <p>(1)障がい者の働き方が多様化している現状について伺いたい。</p> <p>① 障がい者の就労の新たなニーズや課題とはどのような内容か伺いたい。</p> <p>② その内容について京都府では具体的な対応の検討はされているか知る得る範囲で伺いたい。</p> <p>③ 本市としてはどのような考えか伺いたい。</p> <p>(2)本市の障がい者就労支援の進捗状況について伺いたい。</p> <p>① 令和4年の就労移行支援で企業に就職された方が3名と伺っているが最近数年の向日市の就職定着率はどのような動きか伺いたい。</p> <p>② 支援の各機関との連携は密に進んでいるか（問題や課題の先延ばし等はないか）伺いたい。</p> <p>③ 現在、就労支援部会では就労継続支援事業所に聞き取りやアンケート調査を行われているとのことであるが、どのような問題や課題が上がっているか伺いたい。</p>		

<p>2. 生活保護者や身寄りのない困窮者の葬祭扶助費について</p>	<p>近年葬祭扶助費が全国的に増加していて100億超えている問題について 多死社会の公的支援の一つである葬祭扶助費の質問です。</p> <p>① 本市ではどのような増加傾向にあるか伺いたい。 ② この結果に対してどう考えておられるか伺いたい。 ③ 社会保障費である葬祭扶助費を見直す点が有るか伺いたい。</p>
-------------------------------------	---

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	近藤 宏和	所属会派名	MUKO クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. まちづくりについて	<p>JR 向日町駅東口のロータリー構想に関連して、</p> <p>1 点目 京都市、特に桂川右岸地域である久我・羽束師・久世地域との連携はどのように考えておられますでしょうか？京都市やバス会社との話し合いについての現況は？</p> <p>2 点目 先に、京都市の淀等と連携されている長岡京市はどのような成果があったか等、情報収集されていますでしょうか？必要あるかないかの見解も含めて教えてください。</p> <p>アリーナ誘致に関連して、</p> <p>3 点目 府道 202 号伏見向日線の無電柱化に加え、自転車レーンの整備と前田地下道から競輪場へ向けての道路整備ができるチャンスかと考えますが、市の希望も含めて、見解は？</p>		

<p>2. 健康で長寿のまち向日市へ</p>	<p>1 点目 適正な口腔管理で健康寿命を伸ばす制度として 20、30、40、50、60、70 歳、そして、妊娠中の市民に対し、歯周疾患検診が自己負担 500 円程度で受診できる制度をされてはいかがでしょうか？本市の見解は？</p> <p>2 点目 生えたての永久歯に効果的なのがフッ素ということも分かってきていることから、神経発達症のこどもの口腔ケアにも繋がるフッ化物洗口を小学校で実施されることが望ましいと考えますが本市の見解は？ 一方で、趣味や運動をする「場」も必要です。</p> <p>3 点目 ゆめパレアの現況について 現代的な取り組みとして全世代に効果的なアプリへの着手も必要だと考えます。</p> <p>4 点目 歩いたり、健康診断を受診するとポイントがたまり、協力店で特典を受けられるような健康アプリの導入について本市の見解は？</p> <p>5 点目 平均寿命と健康寿命のギャップを少なくする取り組みについて本市の現況と見解は？</p>
------------------------	--

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	林リエ	所属会派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
1 「向日市ゼロカーボンシティ宣言」の現状と今後の展望について	<p>向日市長は令和4年10月、市政50周年を節目に、「向日市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。また本市は環境省の二酸化炭素の排出実績ゼロを目指す、全国の自治体でも81市町村しか採択されていない「重点対策加速化事業」の認定を受けました。しかし残念ながら、「気候変動」は「気候危機」へと変わり、今や「気候地獄」「地球沸騰時代」とさえやゆされるほど深刻な状況におちいっています。そこで「2030年二酸化炭素排出量マイナス46%」を掲げている本市の現状と今後の展望について伺いたいと思います。</p> <p>・ゼロカーボン補助金(太陽光と蓄電池)について 「重点対策加速化事業」の認定を受けた本市は、現在京都府内で最高額の「重点対策加速化事業」補助金を活用し、太陽光と蓄電池を各家庭や事業所に設置することができます。この補助金は令和5年から令和10年の時限補助金です。</p> <p>① 令和4年から始めました「ゼロカーボン補助金」を活用している、事業所・個人宅の設置状況を教えてください。また今後どの様に「ゼロカーボン補助金」利用者を増やしていくのか施策を伺います。</p> <p>② 「第三次向日市環境基本計画」には再生可能エネルギー由来の電力を段階的に導入すると記載されています。公共施設への太陽光・蓄電池設置状況と今後の方向性について伺います。</p> <p>③ 電力会社入札条件の基準項目に再生可能エネルギー率を追加するなど、価格だけではなく入札参加条件基準を緩和拡大すべきだと考えますが市の見解を伺います。</p> <p>④ 東京都が作成している脱炭素化に向けたロードマップをご参照ください。向日市も脱炭素社会実現への時間軸と道筋が可視化できるロードマップが必要だと思います。市の見解を伺います。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・「古紙等集団回収助成金事業補助金」について <p>① 「古紙等集団回収助成金事業補助金」を活用している現在の登録団体数と、助成金を活用している団体の感想などがあればお聞かせください。また今後活用団体を増やす施策を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンポストについて <p>毎日自宅から出る生ごみの水分量は8割以上と殆どが水分です。燃やすためにも膨大なエネルギーを使用し、それに伴いCO2も排出、焼却処分にも私たちの税金が使われています。</p> <p>①コンポスト導入に対して半額補助を行っていますが現在の利用状況を伺います。</p> <p>②堆肥ができて堆肥の活用場所がない。また堆肥を新たに作るために基材を再度購入しなければならないという課題もあるようです。この件に対しての対策を伺います。</p>
<p>2 出産・子育て応援給付金の活用と子育て支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出産・子育て応援給付金の活用について <p>本市では毎年約400名の新生児がうまれていますが、出産後家庭訪問する保健師の数が圧倒的に不足しているようです。保健師や助産師だけではカバーできない部分をサポートするために、全国でも広がりを見せている「おむつ定期便」の導入を提案します。毎月一度、保護者と赤ちゃんの様子を伺いながら子育てに関する悩みや相談にものることで継続的に見守り、保護者の精神的、経済的負担を軽減すると共に、課題を抱えている保護者を行政へスムーズに繋ぐ「ハブ」となる人材や、仕組みが本市でも必要だと感じています。おむつ定期便！ママメンターが月に一度訪問してくれ、子育ての不安や悩みを話せたり、ご近所付き合いができることにより、地域の行事に共に参加したり、本当に困ったときに近所に相談できる人がいることの存在は新米ママにとっては心強いと感じます。</p> <p>①本市の「伴走型相談支援」と「出産・子育て応援ギフト」補助金をどの様に活用されているのか、また今後の展望があれば教えてください。</p> <p>②私は「おむつ定期便！ママメンター制度」を本市に導入できればと提案します。本市の見解をお聞かせください。</p>

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1, 高齢者福祉について	<p>① 改定ごとに利用者負担増、介護従事者の処遇改善が進まないなど、益々使い勝手の悪い介護制度になっていると感じるが、現在の介護制度についての市の見解と今後、現状のサービスをどのように維持されていかれるのか。</p> <p>② 2024年度は、第10次向日市高齢者福祉計画及び第9期向日市介護保険事業計画が新たに策定される。高齢者の実態の把握と高齢者の健康増進と福祉向上の内容はどのようなものを検討されているか。介護保健料を上げないで頂きたいがいかがか。</p> <p>③ 介護保険事業で、要介護者や家族の現状を掴まれる上で見えてくるケースがあるかと思う、ヤングケアラーの実数の把握はしているのか、また、その対応について伺う。</p> <p>④ 介護保険の周知の強化と近隣の公民館やコミュニティセンターなどでの出張相談や訪問など、分かりやすい形での周知ができないか伺う。</p> <p>⑤ 道のでこぼこ解消等、高齢者目線での安全対策について伺う。</p> <p>⑥ ヘルパーの高齢化や人手不足が深刻であるが、その対策について伺う。</p> <p>⑦ 障がい者やその親が共に高齢化し、親亡きあとの不安は多くのかたが心配されている。グループホームや年金で入れる特養の増設は誰もが望まれているが本市の見解を聞く。</p> <p>⑧ 高齢者の居場所づくりやご家族の交流・相談できる場所として、認知症予防のオレンジカフェやシニアカフェ、ビバ・セカンドライフ、民間で立ち上げのカフェなど様々な形で取り組まれている。今後、益々必要とされる取り組みである為、補助金など公的な支援をして頂けないか伺う。</p>		

2, 保育行政について

① 令和6年度の保育所入所申請の受付が11月1日より始まった。令和5年に引き続き待機児童「0」保留児童の解消を実現させて頂きたいがいかがか。

② 保育士配置基準は、1948年制定以来かわっていない。何としても75年間放置されてきた最低基準を抜本的に見直すことが必要と考えるが、本市の見解を聞く。また、向日市としても国の最低基準をもとにしていることから、更なる見直しができるれば、保育士の労働条件改善、子どもの発達の保障の観点からもより豊かで手厚い環境ができるかと考える。向日市の配置基準を見直すことについて伺う。

③ 各保育所(園)で、要配慮児の保育、医療的ケア児の保育など、大変努力し懸命に取り組んでいただいている。年々要配慮児も増加傾向にあるとも聞いており、個々の発達状況にあった保育ができるよう、市としては、人員確保など支援をどのようにされているのか聞く。

④ 民間保育園でも、保育士不足が解消されていない。保育園としても経営上もお困りのことと思うが、大阪では家賃補助制度があり、京都から保育士が流出しており向日市で採用できる人材は減ってきている。向日市でも家賃補助が必要ではないか。また、市としての新たな対策を聞く。

⑤ 向日市立第1保育所の送迎のピークの時間帯には、車が5台ほどずらりと並び空きを待っておられることがあり、近隣から苦情が出ていることもあるようである。お隣の市営住宅の駐車場に空きが出ているので、そこを使用できないか伺う。

⑥ 公立保育所の主食の提供は、令和6年度から開始して頂けるか伺う。

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	松本 みゆき	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. ZET-valley 構想（カーボンニュートラル）について	<p>京都府ではカーボンニュートラル実現のため、ZET-valley を推進し、脱炭素関連企業や技術が集まる拠点「ZET-valley 構想」の実現を目指している。</p> <p>2023年3月に本市および京都府、JR西日本、京都銀行の4者で『ZETvalley』の形成に向けた連携協定が締結された。以下、ZET-valley 構想について伺う。</p> <p>（1）2023年3月国内外の脱炭素関連スタートアップ企業や産学公の関係者が一堂に会し、脱炭素のまちづくり、技術導入に向けた提案検討をする国際サミットが本市にて開催された。連携協定締結以後の構想に関連した動きと本サミットについての評価を伺う。</p> <p>（2）京都府の連携事業として、また本市と関連企業との官民協働の本市独自の事業としてもこのようなサミットやカンファレンスを今後もぜひ開催していただきたいがいかがか？</p>		
2. 次世代テクノロジーを活かし世界に注目される向日市へ	<p>ZET-valley 構想の過程や森本東部地区開発について将来にもたらす税収などの経済的効果と本市のブランディング等についても大変大きな発展が期待ができる。安田市長の情熱と行動力の賜物と評価している。市長の今後の方針や考えを伺う。</p> <p>（1）①ものづくりの原点であるオルゴールを本市のまちづくりとしても活かし活用する取り組みを検討していただきたいがいかがか？</p> <p>②子どもたちへの社会見学の間としての活用や、ものづくりに触れられるワークショップを開催していただくなど、子どもたちにモノづくりの楽しさ、自分で作りモノへ愛着を持つことの体験の創出など企</p>		

	<p>業と協働して子どもたちへ「体験」の提供を検討していただきたいがいかがか？</p> <p>(2) 次世代テクノロジーのまち向日市の実現に向けて、今後は本市独自でも先進率先して企業などと協働した次世代テクノロジーに関わる取り組みを展開していただきたいと考えるがいかがか？</p>
<p>3. 地域づくりによる住民主体の介護予防活動について</p>	<p>我が国は高齢者人口の最大化と生産年齢人口の急減が同時進行で起こり国内経済や社会維持が危機的状況に陥る 2040 年問題が目前である。人と人が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に作る「地域共生社会」を目指すことが重要である。</p> <p>(1) 生活支援コーディネーターを設置していただいているが現在の人員配置の状況と、今後の展開についてお尋ねする。</p> <p>(2) ①本市地域介護予防活動支援事業である「はつらつサロン」の現在の加入状況や、それぞれのサロン活動の近年の傾向はどのようにあるか伺う。</p> <p>②地域住民が主体となった「自主グループ活動」へのさらなる支援についてどのように考えているか？</p>
<p>4. 高齢者の耳の聞こえの支援について</p>	<p>人生 100 年時代と言われる今、高齢者が長生きをして社会でいきいきと活躍した働くとき補聴器は必需品となる。加齢性難聴についてさらなる支援について検討すべきであり、本市の考えを伺う。</p> <p>(1) 特定健康診査等や後期高齢者健康診査の項目に聴力検査を入れるよう国に働きかけるとともに、市として 65 歳以上の健康診断、聴力検査を加える考えについて伺う。</p> <p>(2) 本市において多種類の補聴器に関するさらなる情報提供や、できれば専門機関などと連携した体験会などの実施を検討していただきたいがいかがか？</p>

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1、小中学校の給食無償化及び教育予算の増額などについて	<p>全国自治体の3割以上の550自治体が無償化を行っている。給食費の無償化は法令上も問題ありません。給食費の無償化は食育としても大切です。食べることは人間にとって根源的な事柄。給食みんなで食べ、給食当番、運搬、配膳、後かたづけなど多様な活動を通じて子どもたちが成長する場です。本市議会も国に意見書が採択されましたが地方自治体が無償化に踏み出すことの意義は大きいものがある。①国の無償化制度が出来るまで無償化をされないのか。他の自治体の様子を見たりして手をこまねいているのか。②小中学校の無償化をすることについて及びまず中学校のみ無償化し、小学校も無償化するという段階的な無償化についてや中学校3年生から始めることについてどうか。③令和6年度の給食の質を落とさず値上げをしないで頂きたいがどうか。④教職員の超過勤務現況、解消策について⑤就学援助制度を町内回覧で周知を⑥学校内での紙やインク代を減らすなどが物価高騰のため行われているとのこと。インク代などの高騰分が予算に組まれているか、具体的な数字をお示してください。⑦小中学校のトイレに生理用品をおくことについて⑧健康診断時の着衣を脱がないことについて⑨定期監査報告書の中で囲障（フェンス）の修繕について指摘されています。市内の小中学校の金網フェンスの経年化で損傷が散見される。防犯上及び児童のみならず隣接する道路の歩行者の安全も心配。点検と補修についてどうか。</p>		

<p>2、子どもの医療費を通院も18歳以下まで無料に</p>	<p>4月から高校生の入院の医療費が無料。今中学校までの入院の医療費の無料を進め来年早々に実現。次のステップとして令和6年度予算にむけ通院も高校生まで無料はどうか。</p>
<p>3、溝掃除への補助金制度をつくることについて</p>	<p>地域では町内会加入者が町内の半分になっている所や町内会を無くしてしまわれた所も出てきています。①町内会がなくなることへの対策及び振興策について②溝掃除で業者委託されている町内会に補助金を出して頂きたいがどうか。</p>
<p>4、大軍拡・大增税でなく平和と暮らし優先の経済再生に</p>	<p>岸田自民・公明政権への国民の怒りと不信がうずまいています。物価高騰と暮らしの危機に対して、まともな方策を何一つ出せない「経済無策」への怒りが集中。問答無用の政治で敵基地攻撃能力保有と大軍拡の強行、福島原発事故の反省を投げ捨てた原発新增設と再稼働推進路線への大転換、健康保険証の廃止とマイナンバーカードの強制など説明抜きの暴走政治が行われ統一協会に対し、解散命令請求を行ったことは世論に押されての前進でしたが、半世紀以上に及ぶ自民党と統一協会との癒着を反省のまま蓋は許せない。自民党政治の2つのゆがみ、アメリカいいなり、財界のもうけ最優先の政治のゆがみです。5年間で43兆円の軍事費という大軍拡への「安保3文書」が大嘘です。①大軍拡への道を進むことについてどうか。大企業の内部留保は510兆円を越え富は一部の巨大企業と富裕層にいき国民の暮らしは苦しく経済は停滞。②巨大企業と富裕層に利益がいく経済対策について。日本共産党の40兆円規模の「経済再生プラン」は消費税5%への減税14兆円、教育費の負担軽減に4.2兆円などその財源も示しています。③党の経済再生プランについてどうか。</p>

一般質問通告書 (総括)・分割)

質問者氏名	米重 健男	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項 (質問の要旨)		
1, 地域の建設事業者の育成で公共工事の品質向上を	<p>建設業界では未曾有のなり手不足が続いている。乙訓地域においても建設事業者のなり手不足が顕在化しており、後継者の確保や新規参入の促進が求められるところである。また、高齢化や継続的ななり手不足による中間世代の希薄化により、若手への技術継承が難しくなっている。</p> <p>政府におかれては担い手 3 法を令和元年に改正されている。令和元年改正以降に新たに追加された「緊急に措置に努めるべき事項」として「ダンピング対策の強化」を掲げられている。また経産省からの「令和 5 年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に準じた措置の実施について」及び総務省よりの「地方公共団体の調達における中小企業者の受注機会の確保等について」においても「ダンピング防止対策、適切な予定価格の作成等に関する事項」として組み込まれている。本市では最低制限価格及び運用基準については事前公表されていないが、近隣市町で見れば、長岡京市では「長岡京市最低制限価格制度運用基準」として、京都市では「低入札調査基準価格及び最低制限価格の算定方法」として公表されている。</p> <p>本市においても地域の中小事業者への発注を増加させるとともに、指名業者の選定においては特定の事業者に集中しない幅広い事業者の受注が可能となる枠組みをつくることで、公共事業を請け負う事業者数を増加させ、安定的な事業の実施と適格事業者の育成に取り組む必要があり、以下について問う。</p> <ol style="list-style-type: none">1, 最低制限価格及び運用基準の事前公表について2, 最低制限価格の引き上げについて3, 指名業者選定時に発注の分散を行う事について		

<p>2, 公園の整備について</p>	<p>本市は面積も大変狭く公園についても他市と比べれば大きな面積を持つものは少ない。散策の可能な緑地や多様なスポーツを行えるものとはなっていない。市民からは整備を求める声が出ているほか、緑の確保についてゼロカーボンシティ宣言を行った本市への期待が高まっている。遊具等についても小さな子供や障害をお持ちの方などでも安全に利用できるものが望まれるなど、インクルーシブな機能の実現が求められる。既設の公園においても機能の充実は課題となっている。</p> <p>小さな子供の遊ぶ砂場が猫のトイレとならない様に対策を取ることが求められる他、高齢化社会の進展に伴い、地域に管理をお願いしている公園などでも管理が困難になっており、公園の環境保持のためにも市で対応を行う必要性が大きくなっている。</p> <p>公園の運営では、複数の自治体などで運用の見直しが行われボール遊びが公園内で可能となる事例も現れており、国交省からも提言として「都市公園新時代」が出され、地域の実情に合わせた柔軟な運用について言及している。</p> <p>我が党では市民に積極的なヒアリング調査を行い、来年度予算策定に向けた要望書を本年11月に市長に提出したので、以下について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, ボール遊びの出来る公園について 2, 幼児、障がい者でも遊べるインクルーシブ公園 3, 緑地公園について 4, 砂場への猫避けネットの設置について 5, 樹木の選定、雑草の除去、破損箇所修復など公園の管理について
<p>3, 確定申告における税等減免の案内について</p>	<p>租税公課の減免については基本的に確定申告を行っている年度所得の確定を行っていることが前提となっている。このため、年金受給者や所得の低い非正規雇用者など、税法上確定申告が必要でない方について申告をしていないがために制度の適用を受けられないと言う事案が発生している。これを放置すれば減免対象者等の捕捉率の低下により政策効果の低減を招く。改善の必要があると考え、以下について求めるがどうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 市民税等の減免に確定申告が必要な事を見やすく分かりやすい形で広報することについて